



①綱引き  
②組立表現「にじぞら」  
③どっここマスカット

## 練習の成果を存分に発揮しました 鳩山幼稚園運動会

今年は台風の影響により延期された運動会でしたが、10月16日、町立鳩山幼稚園で運動会が無事行われました。今年も、園児たちが一つ一つの演技を楽しみながら取り組む姿に、会場からは大きな声援があがりました。

当日は、演技を含む全13種目が行われ、プログラムの中には、来賓・保護者の参加種目があり、子どもと一緒に運動会を盛り上げ、親子の笑顔が見られる場面もありました。



④ジャンピングかけっこ  
⑤ダンス「マスカット」  
⑥未就学児はじめてのおつかい



## 硬式テニス親睦交流会

9月8日、「硬式テニス親睦交流会」が町中央庭球場で開催されました。

当日は秋晴れの下、46人の硬式テニス愛好家が参加し、ダブルスを中心にゲームを行い、親睦を深め合いながら秋の一日を満喫しました。

また毎年、春に町スポーツ協会主催の町民テニス大会を開催しています。町内在住・在勤、または鳩山テニス協会加盟クラブ会員など、皆さまの参加をお待ちしています。

## 今年は延べ1,608人が参加 第62回鳩山町民体育祭

10月6日、鳩山中学校第2グラウンドで、恒例となる「町民体育祭」が行われ、今年も、地区別に結成したチームが、対抗戦で力を競い合いました。

当日は、「対抗」「競技」「レク」の3種類で、各世代が参加できる多彩な種目が行われ、大会を通じて親睦を深めるとともに、大勢で運動することの楽しさを味わいました。なお、今年各地区別対抗競技は、同点ではあったものの規定により第8(鳩山ニュータウンB)チームが優勝、第2(今宿・赤沼)チームが準優勝となりました。



「綱引き」



「長縄跳び」



「障害物リレー」



意外と難しい…「宅配便リレー」



最後は駆け抜けて！「ボール送りリレー」



「小学校親善リレー」



勢いよくスタート！  
「1000m走」



「狙え！ホールインワン」



「むかで競争」



「紅白玉入れ」

## 福岡豊則さんが表敬訪問 全日本マスターズ陸上で堂々の1位

10月2日、現役で活躍中の福岡 豊則さんが役場庁舎を訪れ、町長へ表敬訪問しました。

福岡さんは、町内陸上競技団体「鳩走会」のメンバーとして陸上競技に励む傍ら、様々な陸上競技の大会に出場し、数々の好成績を収めています。中でも9月13日～16日で開催された「全日本マスターズ陸上競技選手権」では、75～79歳の部(M75)の800mで「第2位」、1500mで「第1位」という素晴らしい成績を残されました。

福岡さんは今後の活動についても「身体が動く限りは、挑戦していきたい」と、意気込みを語ってくださいました。



重みある「金メダル(写真右)・銀メダル(写真左)」。

## 町民体育祭で行われました 鳩山町スポーツ賞受賞式

今年も町民体育祭の開催に合わせて、「鳩山町スポーツ賞 受賞式」が行われました。

鳩山町スポーツ賞は、町のスポーツ振興に貢献し、功績が顕著な人に「功労賞」を、スポーツ界で優秀な成績を収めた人に「優秀選手賞」を贈り、その栄誉を町スポーツ協会が称え表彰するものです。

なお、受賞者は次のとおりです。※以下敬称略。  
【功労賞】清水一彦(鳩山柔道会スポーツ少年団指導者)、【優秀選手賞】福岡豊則(鳩走会)、小川知也(昨年まで早稲田大学ラクロス部)、加藤将武(鳩山高等学校自転車競技部)、新井陸(鳩山高等学校自転車競技部)、関根優都(鳩山小学校)。



写真左から、関根優都さん、新井陸さん、加藤将武さん、小川知也さん、福岡豊則さん、清水一彦さん。



毎週水・木曜日に地域包括支援センターが行っている「手作業の会」の参加者も、健寿まつりに参加し、エコクラフトによるペンケース作り体験教室や、利用者が作った作品展示などを行いました。日本医療科学大学の学生や、鳩山高校の生徒にもボランティアで体験教室を手伝っていただいたおかげで、たくさんの人に体験いただきました。

エコクラフトを体験した人からは、「初めてだったけれど、教えてもらったので簡単に作ることができた。」との声があがっていました。

## 認知症普及啓発コラム 認知症施策推進大綱の考え方③

今回は、認知症施策推進大綱による「共生」についてお伝えします。

本大綱において「共生」とは、認知症の人が尊厳と希望をもって認知症とともに生きる、また、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる、という意味を表しています。

認知症になった人が生活上の困難が生じた場合でも、重症化を予防しつつ、周囲や地域の理解と協力の下、本人が希望を持って前を向き、住み慣れた地域社会の中で尊厳が守られ、自分らしく暮らし続けていくことができる社会の実現をいいます。

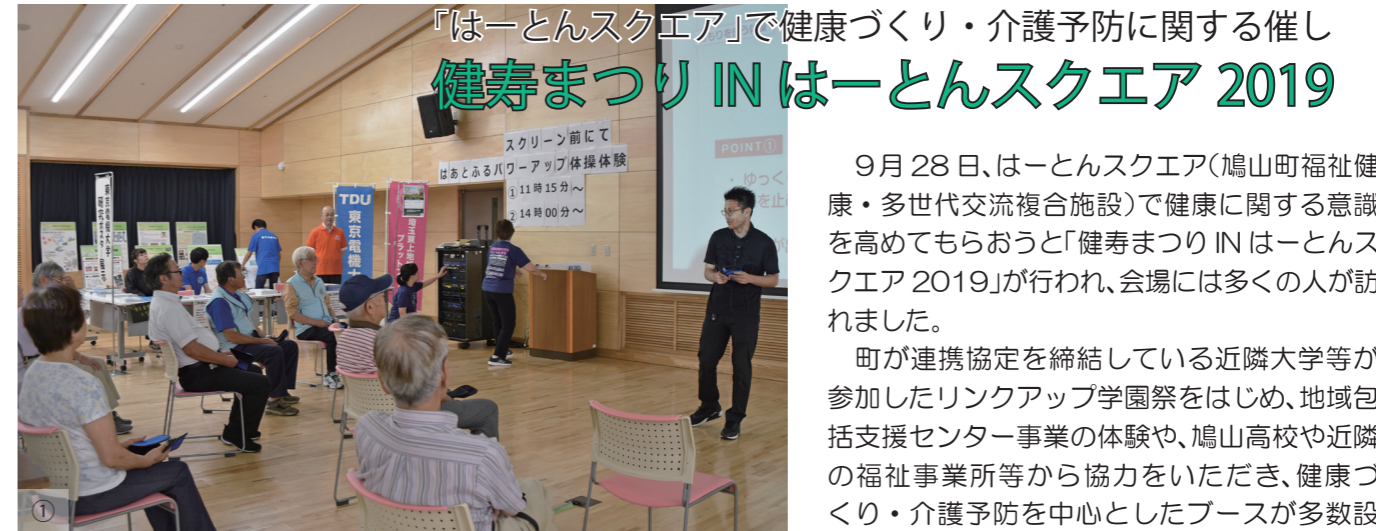
具体的には地域への認知症の正しい理解を広める、

認知症サポーターの養成講座の開催を通じた学校教育などにおける認知症の人などを含む高齢者への理解の推進、地域の高齢者等の保健・医療・介護の相談窓口の周知を強化することなどが挙げられています。

地域包括支援センターでは、相談窓口のひとつとして、平成 27 年度から認知症初期集中支援チームを発足させ、精神科医・看護師・社会福祉士・認知症地域支援推進員が連携して相談を受けています。

今後も講演会を開催し、認知症の正しい理解と地域の理解を深められるように進めていきますので、ご協力をお願いいたします。

**問合せ** 地域包括支援センター ☎ 296-7700



## 「はーとんスクエア」で健康づくり・介護予防に関する催し 健寿まつり IN はーとんスクエア 2019

9月28日、はーとんスクエア(鳩山町福祉健康・多世代交流複合施設)で健康に関する意識を高めてもらおうと「健寿まつり IN はーとんスクエア 2019」が行われ、会場には多くの人が訪れました。

町が連携協定を締結している近隣大学等が参加したリンクアップ学園祭をはじめ、地域包括支援センター事業の体験や、鳩山高校や近隣の福祉事業所等から協力をいただき、健康づくり・介護予防を中心としたブースが多数設



- ①はあとふるパワーアップ体操を体験、
- ②振り込め詐欺対策機器の機能体験コーナー、
- ③大東文化大学(地域連携協定大学)による健康相談、
- ④武蔵丘短期大学(地域連携協定大学)による足裏健康度測定、
- ⑤骨粗しょう症検診



けられるとともに、シルバー人材センターによるいきいきシルバー祭りも開催され、子どもからお年寄りまで幅広い年代が楽しめる内容が行われました。

リンクアップ学園祭で行われた「脳年齢測定」を体験された方は、「脳の若返りには、有酸素運動がいいことがわかった」と話していました。

## 第2回生涯学習講座

### 石坂の自然と歴史散歩



9月26日、鳩山町石坂地内で「生涯学習講座 石坂の自然と歴史散歩」が行われ、22人の参加者が秋の自然と地域の歴史を感じながら歩きました。

講師に中澤氏を迎え、町農産物直売所を出発、十郎横穴墓群を通り、石坂地内の歴史について学びつつ、秋の自然を満喫しました。

参加者からは「今まで知らなかった植物をたくさん知ることができ、有意義な時間を過ごすことができました」「講師の解説が面白く、時間が経つのを忘れてしまいました。また機会があれば受講したい」と話していました。

なお、第4回生涯学習講座は下記のとおり開催予定です。

第4回生涯学習講座は、令和2年1月28日(火)の午前9時～11時30分に、町中央公民館で「リズム体操」を行う予定です。概要などの詳細は、町教育委員会事務局(☎ 296-1263)へお問合せください。ぜひご参加ください。



## 伝統の「舞」を奉納

### 泉井神社ささら獅子舞

10月13日、笛や太鼓の音色が響き渡る中、泉井地区のささら獅子舞が行われ、泉井神社周辺は賑やかな雰囲気にもまれ、大人から子どもまで、多くの方が伝統の舞を見守りました。

泉井神社ささら獅子舞は、毎年2日間にわたり奉納されます。今回も初日(12日)に「宵い待ち」が行われる予定でしたが、台風19号の上陸による影響で残念ながら中止となりました。

町指定無形民俗文化財であるささら獅子舞は、泉井獅子舞保存会の皆さんの努力により長年続いている伝統文化です。近年は担い手不足のため、演じ手の対象を広げたり、OBへの参加呼びかけにより、各世代の方が力を合わせて奉納しています。



雌獅子隠し(めじしがくし)の奉納

獅子舞全体の演奏を行う「笛」



花笠



猿田彦

